

市町村名	北大東村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	道路中央線・歩行者通路整備等事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)		
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島の特徴を生かした産業振興と新たな展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	島の観光に重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを促進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	27,500				
		(b) 予算現額	24,045				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,455				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		24,045				
	B. 執行済額		24,045				
	うち交付金充当額		19,236				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		工事請負費の入札残によるもの					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・アクセス道路及び周辺道路の美化実施	目標	(10箇所)	()	()	()	
		実績	10箇所				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	アクセス道路や周回道路中央線の消えて見えにくい箇所(約25km)を区画線整備し、美化修景(10箇所)も重点的に実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・アクセス道路及び周辺道路の美化実施	目標	(0箇所)	(10箇所)	()	()	()
		実績		10箇所			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	道路中央線の区画線整備の実施により、観光地周辺の交通・安全面での危険解消とアクセスにつながり、美化及び修景実施により、新たな雇用が創出できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	アクセス道路や周回道路中央線の区画線整備と、修景及び美化を重点的に実施してきた中で、歩行者通路区画線の延長やガードレール・案内標識等の設置要望が課題となった。	道路区画整備事業は、単年度にて終了したが、区画周辺・観光地周辺の美化及び修景を継続していく。(数年後には、新たな区画整備箇所を計画・検討)

今後の取り組み方針

区画線整備の箇所や延長については、計画・検討し、標識やガードレール等設置については、交通機関との検討・取組になるとと思われる。美化及び修景実施雇用については、継続実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
24,045	24,045	19,236	4,809	



資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	地域の観光文化資源の担い手育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)		
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島の特徴を生かした産業振興と新たな展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	島の文化資源である『八丈太鼓』の担い手を育成すると共に、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を促進する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,000				
		(b) 予算現額	1,960				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,040				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		1,960				
	B. 執行済額		1,960				
	うち交付金充当額		1,568				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初に含まれていた委託料(3,000千円)は、交付決定前の執行の為に交付金事業対象外である。補正減額変更し、村単費にて執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・大東太鼓担い手育成数	目標	(1人)	()	()	()	
		実績	1人				
	・文化交流イベントの開催	目標	(5回)	()	()	()	
		実績	5回				
達成状況説明	年間三回に渡って、島内での太鼓指導の下、子ども達の健全育成・文化継承・担い手育成を行った。事業実施により、村内行事(4回)・県内行事(2回)・島外への太鼓交流事業を行い、活動実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・大東太鼓担い手育成数	目標	(0人)	(1人)	()	()	()
		実績		1人			
	・文化交流イベントの開催	目標	(0人)	(20人)	()	()	()
		実績		20人			
	進捗状況説明	イベント参加・交流事業の実施により、他団体との太鼓交流を通しての繋がりや子ども達の健全育成・文化継承・担い手が育成された。又、伝統文化・島の魅力を発信した事によって、沖縄本島内・外からの誘客促進と観光振興に大きく貢献した。					

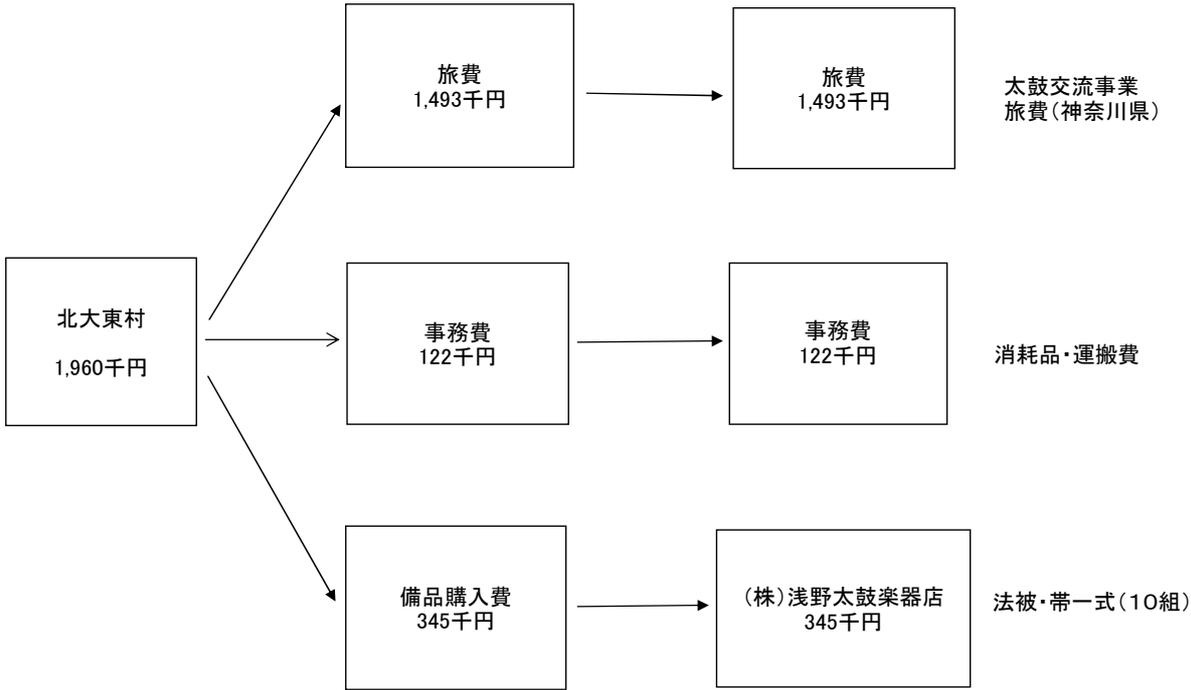
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	事業を実施していく中で、交流遠征先や派遣人数に制限がある事が問題点・課題となった。(太鼓団体会員が約40人)①遠征先の選定基準(県内・県外)②会員全員参加となると派遣費の制限や引率人数制限等…。今後の練習状況も含めて、遠征派遣やイベント参加の選抜基準を設け、取り組んでいくことを留意した。活動実績に関しては、当初見込み以上の交流実施回数と、遠征人数の成果がでた。	伝統文化継承と担い手育成を継続し、県内・県外と活動範囲を拡げていき、島の魅力を発信していく。(誘客促進)

今後の取り組み方針

平成25年度は、『大東太鼓 北曙会』が、活動5年目の節目にあたる事により、沖縄県内の劇場にて太鼓指導者(師匠)とのジョイントコンサートを実施する方針。他団体との文化交流事業と文化継承・担い手育成事業を今後も継続実施し、島の観光振興に繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,960	1,960	1,568	392	



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				離島における定住条件の整備 III-9

事業内容
待機児童を解消する為、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育を強化する。又、特別支援教育を充実させる為、学習支援員を配置する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	7,000				
	(b) 予算現額	4,592				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,408				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	4,592				
	B. 執行済額	4,592				
	うち交付金充当額	3,673				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	・当初に含まれていた嘱託職員賃金(2,296千円)は、交付決定前の執行の為に交付金事業対象外である。補正減額変更し、村単費にて執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		・幼稚園児の預かり保育の実施	目標 (2人)	()	()
	実績	2人			
・学習支援員の配置	目標 (1人)	()	()	()	
	実績	1人			
達成状況説明	待機児童の解消を目的とし、2歳児を含む未就学園児に対し、幼稚園の預かり保育を強化する為、特別支援員(2人)を配置。又、村運営の学習塾へ教育学習支援員(1人)を配置し、児童・生徒を対象に学習支援を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		・預かり保育を利用する園児数	目標 (0人)	(10人)	()	()	()
		実績		10人			
	・学習支援員の配置	目標 ()	(1人)	()	()	()	
	実績		1人				
進捗状況説明	特別支援事業実施により、待機児童の軽減と、幼稚園入園への障害等(親離れ・人見知り・学習発達)を解消した。教育学習支援事業実施においては、全校児童・生徒約6割が学習支援を受け、高校受験も全員合格という実績が得られた。						

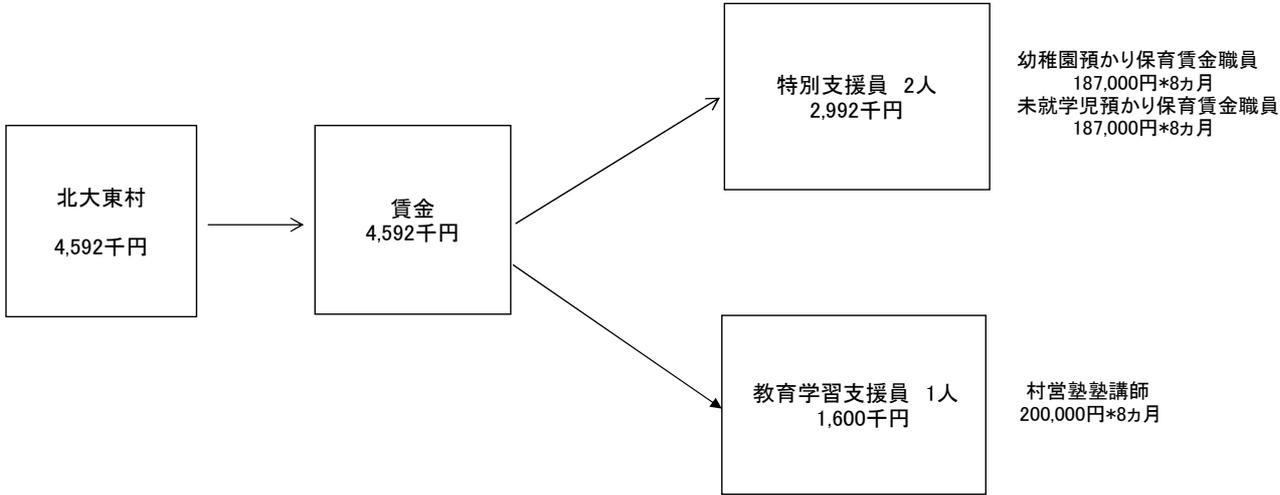
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	特別支援事業を実施する上で、預かり対象年齢(現在満2歳児以降)を下げて欲しいとの要望もあり、今後の課題として、配置人員確保や時間・人数制限等を検討。又、対象保護者からは、就労機会の創出に大きく影響している評価も得られた。学習支援事業では、実績の評価や質・内容・取組方法等が検証された。	現在、満2歳からの対象未就学児を預かり保育へ入所しているが、将来的には、対象年齢を下げ、保護者の就労時間・就労機会を促進していく。

今後の取り組み方針

上記検証を踏まえ、特別支援事業の預かり対象年齢の引下げや人員確保の課題を検討・改善していく。学習支援事業については、平成25年度実施事業(オンライン双方向授業支援モデル事業)を村営塾と絡ませて、学力向上率を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,592	4,592	3,673	919	



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北大東村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	離島の児童の交流促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)		
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島における定住条件の整備 III-9		
事業内容	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流を促進する為、スポーツや交流学习における渡航費の一部を負担する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,000				
		(b) 予算現額	1,584				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,416				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,584				
	B. 執行済額		1,584				
	うち交付金充当額		1,267				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初に含まれていた交流事業・大会派遣は、交付決定前の執行の為に交付金事業対象外である。補正減額変更し、村単費にて執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・スポーツ交流や交流学习の為に派遣した児童生徒数(延べ数)	目標	(20人)	()	()	()	
		実績	20人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	学習・文化交流(浦添市・仲西中学校)やスポーツ大会派遣(陸上競技・バドミントン競技大会)による本島への移動費助成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・スポーツ交流や交流学习の為に派遣した児童生徒数(延べ数)	目標	(0人)	(20人)	()	()	()
		実績		20人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	交流促進事業の実施により、他校(浦添市・仲西中学校)との文化交流が図られた事やスポーツ大会派遣(陸上競技・バドミントン競技大会)においては、地区大会上位実績・県大会派遣への意欲や技術・精神面での向上に繋がる成果が得られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>交流促進事業を実施してきた中で、他校との交流事業や競技大会派遣への移動費助成は、該当保護者・教育関係者のみならず、地域の要望・必要性・継続の評価を得られた。(小規模校・小団体のため、大規模校や競技大会では、委縮してしまい、十分に実力を発揮できない。そのような事から、普段から他校や各種競技大会への参加・出場で交流を重ね、高校進学による本島での生徒交流の障害解消へと繋げていきたい。)</p>	<p>現在、小・中学校の児童生徒が年1回本島内の他校との交流学习を実施しているが、年2回の取り組みや、交流学习実施の学校からの児童生徒を島へ招聘する事業も考案・検討。</p>

今後の取り組み方針

取組の検証を踏まえ、平成25年度も実施継続していくが、今後は、学習交流を実施した学校生徒の招待も計画・検討。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,584	1,584	1,267	317	



資金の流 れ、費目 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北大東村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	離島特別医療質確保推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所				
担当部署名	企画財政課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度				
			沖縄振興基本方針該当箇所				
事業内容	離島の不利益を克服し、妊婦等の健康を守る為、妊婦検診等、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部を助成する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,000				
		(b) 予算現額	179				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,821				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		179				
	B. 執行済額		179				
	うち交付金充当額		143				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初に含まれていた妊婦受診の渡航助成は、交付決定前の執行の為に交付金事業対象外である。補正減額変更し、村単費にて執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・妊婦検診助成回数（延べ数）	目標	（ 5回 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	5回				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	島内で受診対応出来ない、妊婦検診（4人/平均渡航回数5回）医療サービスにおける沖縄本島への渡航移動費助成を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	・妊婦検診助成回数（延べ数）	目標	（ 0回 ）	（ 5回 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		5回			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	妊婦助成事業により、4人の方が、助成申請・支援を受けたが、本事業の周知・認知度等の通知遅れと申請作業等の煩雑さが、当初見込んだ額・人数を下回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>妊婦への助成事業を推進していく中で、申請手続きの事務の煩雑さや助成事業の周知徹底の弱さが問題点にあげられた。今後も継続・必要性の要望もある中で、申請者の手続き簡素化による負担軽減や渡航助成費以外に関連・付属した助成(出産金)も捻出可能か?との課題も挙がった。(交付金事業に関連しなければ、村単費の祝金も検討し、取り組んでいく。)</p>	<p>妊婦受診の助成制度の活用・促進を促し、経費負担軽減への取り組みと不利益条件格差の解消・定住化を図る。(将来的には医療機器・施設の基盤整備強化を検討)</p>
今後の取り組み方針		
<p>検証結果を踏まえて、今後も実施継続・制度の周知徹底を図り、制度活用していく中で少子化問題解消へも繋げていく取組方針。平成25年度は、現在(6月末時点)、前年度を上回る8人の妊婦さんが申請中。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	179	179	143	36	
<pre> graph LR A[北大東村 179千円] --> B[補助金 179千円] B --> C[妊婦検診受診者 179千円] </pre>					

資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	